

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月30日

事業所名: 児童発達支援 CYS school センター南教室

対象人数(保護者)24人 回答者数 19人 回収 79.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	1	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			1
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	1	1
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			1
適切な支 援の提 供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1		
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※1)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	19			
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			1
保護者へ の説明等	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	6	4
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1		
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	5	2	3
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19			
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	5	3
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	1	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			
非常時等 の対応	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		2
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		2	1
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18			1
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	18	1		

※1 : 支援プログラムはCYS school HPに公表されています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 CYS school センター南教室

公表日 2026年3月30日

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			<ul style="list-style-type: none"> その日のメンバーに応じて、自由遊び時に個別の部屋を使う児を臨機応変に決めている。また、柵やパーテーションを利用して個別スペースを作ることで安心して過ごせる環境を作っている。 毎日片付けるようにしている。 子ども椅子はサイズやぐらつきなどのチェックはもちろんだが、発達、姿勢、特性に応じて形状を更新するなど対応をしている。 玩具や絵本の入れ替えなど定期的に行っている。 事務所はスタッフが使いやすいように、療育スペースも安全に過ごせるように物の配置や整理を日々行っている。 活動によりグループわけできるスペースを確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 柵の上に物を一時置きしがちなので気をつける。 背が伸びて鍵を開けられる児が出てきたので、鍵を検討したい。 階段があるため、バリアフリーではない。 日々危険な箇所はないか確認する。事務所や倉庫など後回しにせずに、今使わないものはいらぬものとし整理整頓を意識していきたい。 給食前の待機時間等、一時的ではあるが狭いスペースに密になる時があり、子供同士の距離が近すぎて危険な場合がある。 換気がしにくいので改善策を検討したい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		1		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		3	<ul style="list-style-type: none"> 対応に困った時などの相談を持ち越さず、少しの空き時間などに聞くようにしている。 日々振り返りや改善点を考えて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修(特に救命救急)の機会をより多く設けていきたい。 スタッフ全員で共有する時間が少ないので業務フローを工夫して改善していきたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		2		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	2		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	5		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	1		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			<ul style="list-style-type: none"> 事前に日誌をみて、シミュレーションするようにしている。 自分ひとりで抱え込まないように、必要であれば他のスタッフにヘルプを頼むようにする。 今必要な支援を利用児ごとにしっかり把握するように心がける。 打ち合わせの時間が短いのので、タイミングを見ながらより適切な支援ができるように聞くようにする。 モニタリング、計画書をきちんと作成している。 その日の子どもの様子で臨機応変に活動内容を変更したり、前回の様子から改善できるようにスタッフ間で共有している。 子どもの変化や成長に合わせて、毎月の会議や業務日報にて、支援の内容を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員により勤務時間の都合で打ち合わせの時間がもてないことがあるのでうまく調整していきたい。 活動が固定化しないようにもっと工夫を凝らしていきたい。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		1		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		2		
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	2		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	2		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	1		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		1		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7				
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	4		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		3	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックを含め、保護者にいつも丁寧に対応している。 ・小学校へ引継書を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流、幼稚園などとの交流、家族支援プログラムなど、十分に組み合わせていない項目については計画的に実践につなげていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	4		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	2		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	4		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧に対応している。 ・個人情報の扱いに留意している。 ・適宜、面談や相談の時間を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や相談の際、時間がかなりかかることがあり、場合によりスタッフが足りないと感じることがある。スムーズに終わるにはどうしたらよいかを今一度協議する機会を設けたい。 ・保護者交流の機会、地域交流、SNSの発信が十分にできていないので次年度はどう取り組んでいけるか業務を見直したい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	3		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7					
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	1			

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> ・色々な場面を想定して訓練を行っている。 ・ヒヤリハットを職員間で共有している。 ・安全計画、アレルギー対応について把握や説明をしている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		2	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		1	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		2	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CYS school センター南教室
-------	--------------------

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者との情報共有を大切にしている。	・連絡帳、降園時の対話など丁寧に対応している。 ・スタッフ間でしっかりと共有し、方向性を決めてから話すようにしている。	・ペアレントトレーニングなどの研修を図り、より家庭につなげていける方法を模索したい。
2	・子ども1人1人に合わせた環境・支援を工夫している。	・スタッフが全員揃わないため、業務日報で日々の情報、変更点などを共有している。 ・個々にあったプログラムになるよう検討をしている。	・常日頃、子ども目線に立った環境面の配慮や工夫をしていく。 ・療育に関する研修を行っていききたい。 ・子どもの発達、保護者のニーズ等、検討を重ね、スタッフ間で共通認識を高めていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域資源との交流	・日によって職員配置に余裕がない場面もある。	・チーム連携を高めてうまく対応していききたい。
2	・家庭支援	・療育中に対応する部屋のスペースが不足しているので環境構成を今一度見直す必要がある。	・保護者間の交流。保護者会、療育参観の実施。